

様式 A-1

平成 26年 6月 20日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 兵庫県立明石北高等学校 担当 松尾 和宏
2. 講師氏名: Sanjay Kumar Mehta
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 26年 6月 19日 (木) 10:40 ~ 12:40
5. 参加生徒: __年生 __人、 __年生 __人、 3年生 82人 (合計 82人)
備考: (例:理数科の生徒) 普通科理系生徒 43名 自然科学科生徒 39名
6. 講演題目: (英文)Monitoring Upper troposphere and Lower stratospheric temperature using
Global positioning system techniques
(和文)
7. 講演概要: 1)インドについて・自己紹介
2)地球の大気についての導入
3)GPS を用いた大気観測
4)大気の温度変動とその傾向(地球温暖化など)
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1)講演時間 120 分 質疑応答時間 0 分
 - (2)講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクターでスライドを見せながらの講演
 - (3)通訳 (例:同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
なし
 - (4)事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
当日使用のスライドの調べ学習(2時間)
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金

11. その他特筆すべき事項:

事前の打ち合わせ(同行者あり, 講演 50 分, 質疑応答 30 分, 内容: 研究内容だけではなく国のことや科学者になった動機など幅広く)とまったく違ったので戸惑いました。研究内容の話が大半で, 専門的な内容を英語で講演されたので, 生徒の理解度はかなり低くなってしまいました。

また, 途中で同行者なしという状況になり, こちらの意図が先方に十分に伝える手段も限られてしまい, 打ち合わせを十分に行うことができなくなってしまいました。